



# 奇声・危険行動・パニック症状が 改善し、東京へ家族旅行 できたケース

日本ホメオパシーセンター青森八戸 未央（びおう）  
JPHMA認定ホメオパスNo1007  
橋央子（たちばなひさこ）



最初の電話の向こう  
側から

動物のような叫び声  
が聞こえる。

20歳 女性

自閉症スペクトラム 知的障害

パニックになる

奇声をあげる

## 主訴

幻聴

外の通行人に罵声・暴言

ベランダから飛び降りようとする（危険行動）

母と離れる事ができない（短時間でもいなくなるとパニック、騒ぎ出す）

結節性硬化症（脳、腎臓様々な場所に腫瘍ができたり、てんかん、自閉症などの症状が出る）



# クライアントの母親

ひと時も目を離せない。

トイレにもゆっくり行けず、お風呂にもゆっくり入れない。

食事もまともにとれない。



## タイムライン

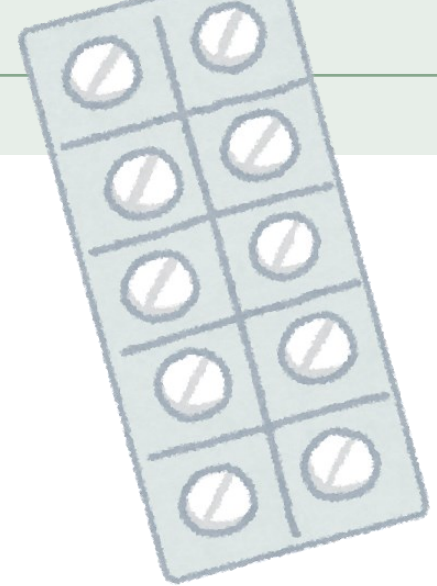
- **出生時:** 頭部CT上側脳側室壁の結節状石灰化
- **2ヶ月:** 間代性けいれん **てんかん治療開始** 発達の遅れ、知的遅れが認められる
- **支援学校高等部:** 最寄り駅まで送迎し、一人で電車通学するものの、**車内で他人の目が気になる。自分の事を見て笑っている、馬鹿にしていると、被害妄想。**
- **18歳:** 駅構内で**パニック**になり、ウォーと叫びながらエスカレーターを駆け上ったり駆け下りる行動を繰り返す。**バスや電車の中でも窓を叩いて騒ぐ。**精神科に**通院困難**なため、電話診療にする。

## タイムライン

- **19歳:** 自立訓練事業所に母と共に通所。母が24時間傍にいないと不安で落ち着かない。
- 母がトイレに行くだけでパニックになり、奇声をあげドアをドンドン叩く。車の窓や家の窓から通行人や近所の人に対して「死ねー」と叫ぶこともある。

今までに使用  
していた薬

- テグレトール（てんかん薬）
- レベチラセタム（てんかん薬）
- アフィニトール（結節性硬化症による過誤腫、腫瘍を抑える）
- リスペリドン（幻覚、妄想、感情などを改善）
- ジアゼパム（脳の興奮を抑える） ※頓服



※クライアントの母親と、主に話をしながら健康相談を進めていった。

- #971 てんかん様発作：意識のない
- #1158 だるさ（倦怠感）
- #642 動悸－不安感を伴う
- #780 不安－肉体的な（体を感じる、憂慮、など）
- #443 腎臓
- #806 妄想（錯覚、幻覚、空想）
- #836 不眠
- #407 鼓腸－ガスの排出が妨げられている
- #1190 腺－腫脹（腫瘍）



## 2023.2.20 第一回目健康相談

### TBR

- 1 Nux-v
- 2 Sulph
- 3 Cocc
- 4 Puls
- 5 Calc

### 1位 Nux-v

神経が際立って敏感、過剰な状態に、適合すると判断

随時 MT) サポート神経  
+ 棒折山のお水  
+ Melat.12X  
+ Adren-c-m-c 1 2 C

朝 Calc. LM2

夜 Morg-g. 30C  
Nux-v. LM4

2023.2.20 第一回目健康相談

## 処方と共に

母親が憔悴しきって、まともに食事を作れない状態を改善。

調味料を本物のいい物にしてもらうようにした。本物の調味料だけで素材の味がおいしくなり、ミネラル摂取もできるようになる。

最低、ご飯とみそ汁だけでもOK

## 第一回目～三回目健康相談終了後

不眠だいぶ改善。

緊張と不安が少なくなった。

幻聴改善。

手足のたるさ改善。

便秘改善。

母親がいなくても大丈夫な時間が増えた。

一人で部屋で眠ることができるようになった。

理解力が増し、語彙力が増した。

不安なとき？身体が震える、と本人が訴える。（傍から見てもわからない）パニックになり、バスや地下鉄を急に「降りる」と泣き出す。陰部のかぶれ。腎臓過誤腫。

#703 震え（悪寒）全般

#777 動揺している（興奮している、気が立っている、緊張している）

#779 不安

#1747 不安（恐れ 恐怖）

#1764 苛立たしさー不安を伴う

#501 女性性器ー外陰部

#1522 痒み

#1190 腺ー腫瘍

#443 腎臓

2023.6.6 第四回目健康相談

TBR

- 1 Nux-v
- 2 Bell
- 3 Puls
- 4 Sulph
- 5 Aco

2位 Bell.  
妄想、不安

随時 MT) サポート発達障害・神経  
+ 抗てんかん薬のレメディー  
+ Melat.12X  
+ Adren-c-m-c 1 2 C

朝 Calc LM4

昼 Tub LM5

夜 Bell LM 6

随時 FE) オオシマザクラの花

## 第四回目～五回目健康相談終了後

母と別々に行動することができるようになってきた  
「私が一緒に行くとお母さん大変でしょ」と気遣う事もできる  
ようになった。  
集中力も増してきた。  
理解力増してきた。－母親に指摘するようになった。  
予期不安があると悪化。  
思い通りにいかないと乱れる。  
身体が震える感じがする。  
みぞおちが痛くなる。



- #703 震え
- #777 動揺（興奮、気が立っている）
- #779 不安
- #1747 不安から悪化
- #1764 精神—かき乱される—不安を伴う
- #501 女性生殖器—外陰部
- #1522 痒み
- #1190 腺—腫瘍
- #443 腎臓

## 2023.9.5 第六回目健康相談

### TBR

- 1 Bell
- 2 Plat
- 3 Ign
- 4 Op
- 5 Aco

1位 Bell.  
妄想、不安



随時 MT) サポート発達障害・腸

朝 Plat LM6

昼 Thym-gl 30C

夜 Bell LM8



## 【結果】



1人で地元の合唱サークルに入り発表会出場

パニックがだいぶ減り、叫びたい症状が無くなった

新幹線に乗って東京へ5日間旅行ができた。人ごみの渋谷109へ行き、ショッピングを楽しむことができた。

## 【クライアントの母】

クライアントの母親が普通の日常生活ができるようになった。

ゆっくりお風呂に入れる

ゆっくり歯磨きができる

ゆっくり買い物に行く

美容室へ行く

公共交通機関を利用できる



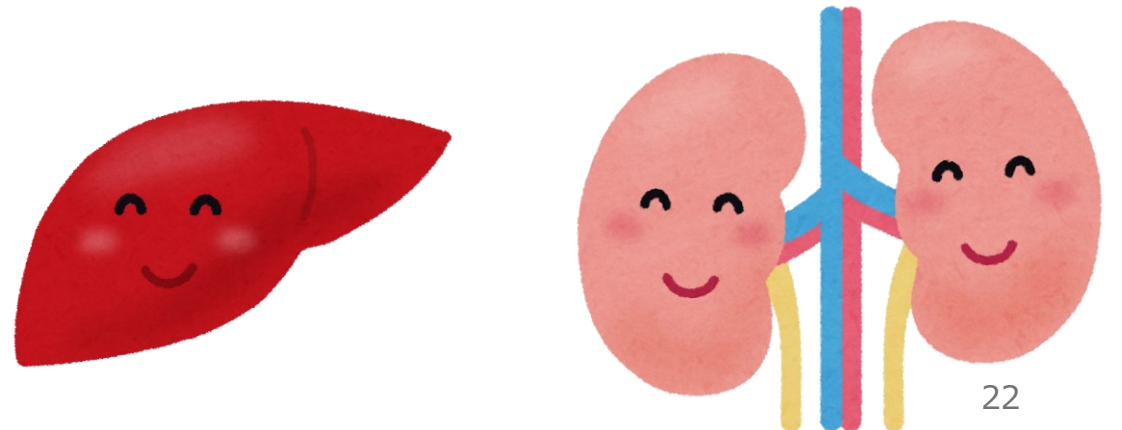
家族旅行などで、幸せや楽しみが増えた

## 考察

生後二ヶ月から抗てんかん薬治療が始まり、年齢を経るにつれ、抗不安薬、自閉症治療薬、など、沢山の薬物投与されてきたため、副作用が多く現れていたように思われる。

初期はひたすら肝臓や腎臓、臓器サポートを徹底し、徐々に薬物を希釈震盪したレメディーにて、体内の薬物を排除していく事により少しずつ安定してきた。（現在も病院の薬を投薬中）

ホメオパシーも継続中



母親も健康相談を毎月受けていただき、特にインナーチャイルドセラピーに重点を置き、子どものパニック症状にドッシリ構えることができるようになった。明らかに母親の安定と同調して、子どものパニックが減っていく症状が見て取れた。

母親の健康相談を同時進行していくことで効果が早かった。

憔悴しきった母親が余裕ができてくるにつれて、食事を作ることができるようになり、ミネラルバランスのとれた食生活ができるようになった。精神の安定と、身体の安定ができた。

## クライアントさんの母親が言った一言

自分達と似たような境遇の親子は沢山いると思う。

ぜひ、みんなにホメオパシーをやってもらいたい。





ありがとうございました

ホメオパシーで皆様が幸  
せになりますように♡

